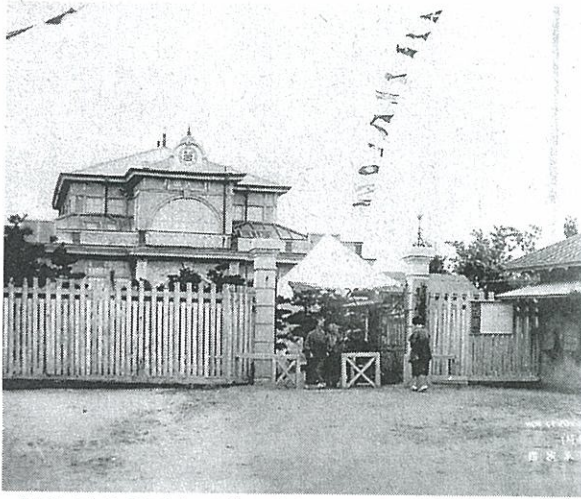


# 福岡・箱崎の喫茶店

# 明治の水族館しのぶ

100年前の明治時代に現在の福岡市東区箱崎にあった「箱崎水族館」を受け継ぐ喫茶店が、昨年3月、同所の箱崎本通り沿いにオープンした。当時の館長のひ孫が経営する、その名も「箱崎水族館喫茶室」。店内にはありし旧の水族館をしのばせる写真が展示されるほか、ミニコンサートやピアノ教室、NPOの会合も開かれ、地域に住む人の憩いと交流の場になっている。【斎藤良太】



絵はがきの写真で残る箱崎水族館の外観  
—花田典子さん提供

## 元館長のひ孫が昨年開業 「消えゆく記憶を残したい」

箱崎水族館喫茶室を経営する花田さん夫妻―福岡市東区で、斎藤良太撮影



経営するのは、同所の花田宏毅さん(54)と典子さん(54)夫妻。典子さんにとって、水族館長を務めていた故久保田知俊さんは曾祖父にあたる。同館は1910(明治43)年、筥崎宮近くに、地元の名士数人が出資し、九州・山口では初の水族館で、開館時にはきわだったという。しかし、国道3号の拡張用地に敷

て開設された。木造2階建てで、ナマズなど淡水魚、タイなど海水魚のほかに、オットセイ、サル、クジャクなども展示。当時、九州・山口では初の水族館で、開館時にはきわだったという。同館の写真を譲り受けるなど資料を集め、次第に「消えゆく記憶を残していかなければ」との思いも強

地が含まれたため1935(昭和10)年に閉館、建物も取り壊された。実家が同所だった典子さんが生まれた時、曾祖父はずでに他界。館長だったことも家族から聞かされた程度だったが、約7年前に知り合いから同館の存在を聞き、関心を抱くようになった。同館